

平成 27 年京都大学地球物理学教室同窓会（京大知球会）報告

2015 年 3 月 14 日（土）

講演会 13:00-16:30 理学部 6 号館 301 号室 司会：福田洋一

[講演要旨は別に収録]

13:00 開会の挨拶 荒木 徹（会長）

今回から、講演会を公開することにし、地質鉱物学教室・防災研究所・生存研研究所に掲示を出し、京大同窓会ホームページと京都新聞今週のイベント欄に記事を書いたが、一般来聴者はなかった。周知方法を考え直す必要がある。

【特別講演】 13:05-14:00

揺れから揺れを予測する：データ同化・リアルタイム Shake-map・波動伝播シミュレーション
～次世代の緊急地震速報を目指して～

干場 充之（気象研究所 地震津波研究部 第三研究室室長）

【退職記念講演】

14:00-14:40 風を測る、雨を測る、地上気象

林 泰一（京都大学防災研究所 流域災害研究センター 准教授）

14:40-14:50 休憩

14:50-15:30 四国の地すべり地の地下水について

末峯 章（京都大学防災研究所 斜面災害研究センター 准教授）

【瑞宝中綬章受章記念講演】

15:30-16:10 東濃地域における雑微動の最小振幅と地震動の最大振幅の関係

田中 寅夫（京都大学名誉教授）

総会 16:30 - 17:30 理学部 6 号館 301 号室 司会：岩崎 好規

報告	(1) 教室の近況について	秋友 和典（教室主任）
	(2) これまでの活動のまとめ	荒木 徹
	(3) 関東支部設立の報告	谷 伸
	(4) 総務・名簿	諏訪 浩
	(5) 歴史記録	竹本 修三
	(6) その他	

議事	(7) 会計報告	福田 洋一
	(8) 会計監査報告	田中 良和
	(9) 次期会長挨拶と新役員・幹事の選出	入倉 孝次郎
	その他	

その他

総会の報告と議事の要旨

報告

(1) 教室の近況について

秋友和典

太陽惑星系電磁気学講座に田口聡教授が H26 年 4 月 1 日付けで着任された。H26 年度末の教室教員数は 17 名である。H27 年度には客員教授、准教授として井口俊夫氏（独）情報通新研究機構）と石川洋一氏（独）海洋研究開発機構）をいずれも 3 年の任期でお迎えする予定である。さらに余田成男教授が H27、28 年度の理学研究科評議員（副研究科長）を務められる予定である。関連施設では、地球熱学研究施設の柴田智郎准教授が H26 年 4 月 1 日付けで着任された。

大学を取り巻く状況は急速に変化し、本学でも大幅な定員削減、学域・学系制の導入をはじめとする種々の変革が進行中である。また、地球物理学分野での大学院充足率は低下しており、これら喫緊の課題に教室一丸となって取り組んでいる。

(2) これまでの活動のまとめ

荒木 徹

(2-1) 平成 26 年度の同窓会活動

(a) 知球会関東支部の設立：

大学当局も支部設置を奨励しているので、これまで関東支部準備会として、吉川賢一・谷伸・徳田八郎衛幹事に世話をしていた。3 年前に拡大幹事団を作って準備を始め、昨年 4 月 1 日に京大知球会関東支部が発足した。11 月 15 日（土）には、京大品川オフィスで関東支部設立祝賀会を開き、谷氏が「国家の主権範囲を描き出す地球科学—海洋法条約と大陸棚の確定」と題する記念講演を行った。参加者は 48 名で盛況であった。幹事団のご努力に敬意を表したい。

設立の経緯・幹事団氏名・祝賀会プログラム・講演趣旨・出席者氏名などは、同窓会ホームページ [同窓会の活動] —関東支部設立記念祝賀会の報告—欄で見られる。

(b) 幹事交代 (H26 年 4 月) 町田忍氏の後任として着任された田口聡氏に幹事を委嘱した。

(c) 資料寄贈 (6 月) 故藤原俊郎氏 (昭和 27 年第 4 講座卒, 防災研桜島 → 鉄道技研) の御遺族から鉄道地震災害の資料 (スライド・写真アルバム) の寄贈があった。

(d) 役員幹事会 (11 月 29 日) :

諸報告の後、今年度同窓会次第 (日時, 講演者など) を決めた。今回から、教室主任報告を総会に移し、講演会を一般に公開することにした。秋友教室主任から理学部サポータークラブの説明があった。(出席者: 田中寅夫, 徳田, 竹本, 諏訪, 田中良和, 福田, 田口, 入倉, 秋友, 荒木)

(e) 同窓会講演会・総会・懇親会案内発送作業 (H27 年 1 月 16 日) ; 諏訪・福田・荒木

(f) 公開講演会案内: 地鉦教室・防災研・生存研にポスターを掲示し、京大同窓会・京都新聞 (今週のイベント欄) のホームページに概要を載せた。

(g) 4 回生・院生宛 同窓会説明資料配布 (2 月) : 同窓会の歴史, 関東支部の設立, 会員資格, 入会費支払いの要請などを A4 用紙 1 枚にまとめ、メールで配布した,

(h) ホームページ記事: 同窓会 (H26. 3. 15) 報告, 関東支部設立祝賀会報告を追加した。

三雲 健会員に書いて頂いた「京都・岡崎余話」, 「元暦二年七月九日 (1185 年 8 月 6 日) の京都地震について」を [報告・寄稿] 欄に掲載した。引き続き、会員の寄稿をお願いしたい。

(i) 名簿整備の進展 : 関東支部名簿と本部名簿のマージが進んでいる。

(2-2) 4年間 (H23.4-H27.3) の総括

- (a) **同窓会別称** : 前々期から議論されてきた同窓会別称を「京大知球会」と決めた。
- (b) **歴史記録** : 竹本修三氏に歴史担当幹事になって頂き、「京大地球物理の歴史を記録する会」を作って、「京大地球物理学研究の百年(Ⅲ)」を発行した。また、教室図書室に「歴史コーナー」を設けて、会員の著書を集めることにした。引き続き、著書寄贈をお願いしたい。
- (c) **学術情報リポジトリー** : 「京大地球物理学研究の百年(Ⅰ)-(Ⅲ)」, 「地球物理」, “(Special) Contribution of Geophysical Institute, Kyoto University” を京大図書館の学術情報リポジトリー” KURENAI” に収録した。
- (d) **ホームページ** : 下記の記事を追加した。
「京大知球会」決定に至る経緯 (諏訪)
「京大地球物理の歴史を記録する会」発足の経緯、著書寄贈のお願い (竹本)
紀要の電子化・公開に係る著作権の処理について (堤図書委員長)
京大知球会関東支部の立ち上げの経緯、関東支部設立記念祝賀会の報告 (吉川)
同窓会写真集
「京都・岡崎余話」 「元暦二年七月九日(1185年8月6日)の京都地震について」 (三雲)
- (e) **関東支部** : 3年の準備の後、関東支部が設立され、設立祝賀会が開かれた。
- (f) **会長選出ルール** : 下記の暫定ルールを決めた
- [0] 次期会長は、1年前の総会で決め、役員幹事会に参加する。
 - [1] 役員幹事会に、前会長・会長・副会長・総務・会計からなる次期会長選考委員会を設ける。
 - [2] 役員・幹事からの推薦を受ける
 - [3] 先ず、これまでに会長を出していない海洋物理学講座、応用地球物理学講座関係者を考える。適任者が見つからなければ、この条件を外す。
 - [4] 複数の適任者のリストを作る。
 - [5] リストの候補者の適性、事情を調査し、最適者から順位をつける。
 - [6] 順位に従って諾否の見込みを調べ、役員・幹事会に諮って会長候補者を決める。
- (h) **次期会長選出** : 上記ルールに従って、入倉孝次郎氏を次期会長に選出した。

(3) 関東支部設立の報告

谷 伸

- ・ 2年前から、何かした方がいいということで、47年卒の吉川氏を中心に活動を始めた。
- ・ 関東支部という分派集団を作るという考え方ではなく、関東支部幹事団というものを作り、本部活動の一環として東京で活動する、いわば本部幹事団の関東支店を作る、という考え方で、規約もそのように作った。
- ・ 京都大学の東京オフィスができたので活動がやりやすくなった面がある。
- ・ 荒木会長のご威光のお陰で、支部幹事団に電磁気出身の若手が多数入ってくれ、大活躍してくれている。第1回の設立総会に48人、それも若い人が多く参加してくれたのは、若手幹事のお陰である。

(4) 総務・名簿

諏訪 浩

・同窓会会員名簿冊子は隔年印刷配布している。最新版を昨年の総会で配布したので、今回は配布しない。

・名簿の加筆修正を継続的に進めている。更新データは、洛洋会（海洋物理学講座同窓会）名簿データ、気象学講座関係者名簿データ、知球会同窓会 2015 年 3 月 14 日開催郵便案内不達情報、個人からの異動データの報告、知球会関東支部名簿担当の中島良一氏からの名簿データマージ結果の報告などを頂戴している。これらデータを会員名簿原簿に反映させるべく随時作業している。

・ご自身あるいはお知り合いの方で、同窓会名簿掲載データに変更が生じたときは更新データを総務の諏訪まで速やかにお知らせいただきたい。

・過去 1 年の間に以下の会員 8 名の方の訃報に接した。謹んでご冥福をお祈りしたい。

小川俊雄, 2014 年 3 月逝去, 地球電磁気学講座, 昭和 26 年卒, もと高知大学理学部
島 通保, 2014 年 3 月逝去, 応用地球物理学講座, 昭和 34 年博士, もと京都大学防災研究所
藤原俊郎, 2014 年 4 月逝去, 応用地球物理学講座, 昭和 27 年卒, もと旧国鉄鉄道技術研究所
友定 彰, 2014 年 8 月逝去, 海洋物理学講座, 昭和 40 年卒, もと海上保安庁水路部
猿木頼男, 2014 年 9 月逝去, 海洋物理学講座, 昭和 26 年卒, もと海上保安庁水路部
岡寄守良, 2014 年 10 月逝去, 海洋物理学講座, 昭和 31 年卒, もと理化学研究所
細山謙之輔, 2014 年 10 月逝去, 地殻物理学講座, 昭和 23 年卒, もと水沢緯度観測所
岸本^{よしみち}兆方, 2014 年 11 月逝去, 地殻物理学講座, 昭和 26 年卒, もと京都大学防災研究所

・なお、新たに会員の訃報に接せられた場合には、情報を総務まで速やかにお寄せいただきたい。

(5) 歴史記録

竹本 修三

荒木会長の報告：(2-2) 4 年間の総括(b)歴史記録に述べられていることに下記 2 点を付け加える。

・2014 年 9 月 3 日～10 月 19 日に京大総合博物館で「明月記と最新宇宙像」の特別展を開催したが、そのなかで「京大宇宙地球科学のパイオニアたち」のコーナーを設け、志田順（京大地球物理学研究の創始者）と松山基範（地磁気逆転の明瞭な証拠を示す）の研究業績を紹介した。

・2014 年 4 月に逝去された藤原俊郎氏のご遺族から地物事務室に資料寄贈の申し出があり、図書室で保存・整理中。内容は十勝沖地震（1952. 3. 4）や宮城県沖地震（1978. 6. 12）の被害写真などを含む。

議事

(7) 会計報告

福田 洋一

（次項の会計監査報告の後、拍手により承認）

収入の部：

2013年より繰越：	360,041
同窓会入会金（@3000x14）：	42,000
懇親会費（@5000x35）：	175,000
口座利子	89
小計	577,130

支出の部：

同窓会案内郵送料 (@80x256)	20,640
文具等 (名簿表紙, 封筒, ラベル等)	8,991
懇親会飲食費 :	120,080
同窓会準備アルバイト (@5000x2)	10,000
慶弔費 (供花)	42,000
関東支部補助	50,000
口座税金	16
小計	251,727
次年度繰越	325,403

(8) 会計監査報告

田中 良和

平成 26 年 2 月 25 日 12 時 15 分から 12 時 30 分まで、福田会計担当役員の説明で京都大学地球物理学教室同窓会の会計監査を実施した。会計書類等はよく整理されており、会計からの報告の通りであることを確認した。

(9) 次期会長挨拶と新役員・幹事の選出

入倉孝次郎次期会長から下記の挨拶があった。新会長の提案により、役員・幹事は、全員留任することになった。

新会長挨拶

入倉 孝次郎

平成 18 年(2008 年)に設立されて以来、山元竜三郎先生、田中寅夫先生、荒木 徹先生の後を継いで、4 代目の会長となる入倉です。この間、同窓会は、年 1 回の例会で新旧の同窓生の講演などによる交流だけでなく、京大地球物理学研究の百年の編集など、同窓会として充実した活動をしてきました。これまでの錚々たる会長に比べて、非力感は免れませんが、私も同窓会活動の充実・発展に努めさせていただきたい、と思っています。

私は、1963 年に大学院理学研究科地球物理学専攻に入学し、第 4 講座 (応用地球物理学教室) に配属されました。その年は、地球物理学を創始した志田 順先生とともに、京大の地球物理学を発展させた佐々憲三先生が退官されたときでした。私は、佐々先生の講義を直接拝聴することは機会はありませんでしたが、佐々先生は退官されてからも第 4 講座の雑誌会に時々来られ、若手研究者の発表に鋭いコメントをされましたので、佐々先生の学問に対する真摯な態度を多少とも学ぶことができました。佐々先生が来られると、発表者だけでなく参加者全員が緊張し、雑誌会の雰囲気が一変したことが今も忘れられません。

私は、大学院終了後も、防災研究所の助手、助教授、教授としてずっと京都大学で、研究・教育に携わってきて、京都大学のいいところも問題点も経験して来ましたが、自分自身の京大、地球物理学教室の貢献の少なさを痛感しています。

この同窓会は、シニア世代の同窓生に活躍の場を提供すると同時に、現役の若手世代も参加する意義のある場にしていく必要があると感じています。関東支部の設立は、地球物理同窓会の活動の場を広げるだけでなく、新旧の同窓生の交流の場として時機を得たものと思います。私は、同窓会の会長として、同窓生の皆様とともに、京都大学の地球惑星科学の発展に多少なりとも貢献できることを探してみたい、と思っています。